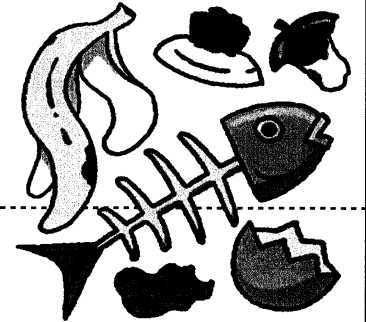


主な投入物

投入した物

- ・野菜くず、野菜の種 ・残飯 ・出汁をとったアゴ ・魚の骨、エビの殻
- ・果物の皮(スイカ、メロン、バナナ、梨、柿、キウイ) ・米のとぎ汁、米ぬか
- ・茶がら、コーヒーかす、ティーバッグの中身
- ・石灰乾燥剤 ・油・水を1回50ccずつ
- ・残飯はほとんど入れなかった

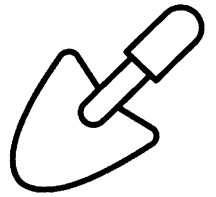


投入時、気をつけたこと

- ・スイカの皮などは、水切りしてから入れた。
- ・長いも、ジャガイモなどのイモ類は細かくしても残るので、取り出した。
- ・サツマイモなど固いもの、タマネギの皮は、最後までそのまま残った。
- ・キャベツの芯など固い物やバナナの皮は細かく切って入れた。
- ・ピーナツの皮、魚の小骨は分解されにくいので、細かく砕いた。
- ・玉ねぎの皮や卵の殻などは投入しても分解されないなので、分別するのが大変だった。
- ・ニンジンなどの固いものは残ることがわかったので、細かく切って投入した。
- ・大きいもの、固いものは細かくしてから投入したが、あまり固いものは分解されず残るので、考えながら投入した。
- ・野菜くずは、投入するたびに小さく切らなければならないことが面倒。
- ・生ごみは、できるだけ細かくして投入
- ・説明書をよく読まず、「乾燥した状態では発酵が進まないのではないかと」、生ごみを入れるたびに水を1ℓ投入した。
- ・はじめは細かく切るのが面倒で、大きなまま投入していた。
- ・油(廃油)を入れてみた
- ・途中、EMボカシ2袋投入
- ・廃油を2週間に2回、120cc投入。
- ・もみがらくん炭を2日おきに2回、200g投入。
- ・水少々を2回投入、EMボカシ300gを1回投入してみた
- ・開始から1ヶ月後に、「佐渡市の土」4ℓを投入してみた。
- ・葉物野菜は分解が遅いので、細かくきざむか、湯がいてから入れた。
- ・野菜くずは新聞紙等に載せておいて水分を切り、細かくしてから投入した。

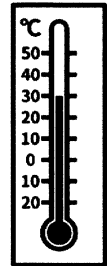
攪拌

- ・8月の終わり頃から夏野菜がたくさん入れられるため、朝と夕方攪拌した。
- ・投入するごとに、攪拌をした。
- ・攪拌の回数を多くすると分解が早まり、土がサラサラになったように思う。
- ・水分を入れ、土を切るように混ぜたら、固まった土が2・3日でサラサラしてきた。



温度

- ・コンポスト内の温度が上がらないので、米ぬか(500g)、鶏ふん(500g)を入れて様子を見たが、効果はなかった。
- ・廃油を投入(一度に100cc)すると、4~5日間、基材の温度が高く(35℃~40℃)なり、分解が進んだように感じた。
- ・廃油も入れすぎるとよくないのではと思い、15日くらいの間隔で入れた。
- ・温度が上がらない時、米ぬかを1ℓ~1.5ℓ入れると、急上昇(40℃)した。
- ・材料はなるべく細かく刻んだほうが速く分解され、土の中も高温で、楽しみになってくる。
- ・細かく切って投入しても温度が上がらないので、廃油を入れたり、漬物に使った麴や、ご飯、塩、砂糖、EMボカシなどを投入したが、あまり効果はなかった。
- ・温度の上昇はみられなかった。
- ・半日天日干しをしたが、温度は上がらなかった。
- ・最初、なかなか温度が上がらず、EMボカシを投入した。
- ・なかなか分解されず、温度も上がらないので活性液(EM菌)を4日おきに180cc投入(全4回)してみたが、温度は全く変化なし(上がらない)。



困ったこと

- ・もともと生ごみがあまり出ないため、投入できる物が少なくて困った。
- ・梅雨どきのカビ(少量)発生、夏期の小バエの発生に困った。
- ・小さな虫が出たときは、消石灰をふると出なくなる。
- ・ちょっとでも気を抜くと虫が発生し、2回ほど殺虫剤を使った。
- ・攪拌しても水分が下に溜まり、ダンボールがブヨブヨして3回交換した。

効果

- ・ごみは、少しずつ分解されてきた。
 - ・毎日、生ごみを投入しているのにコンポスト内の全体量は変わらない。
- 「これは分解が進んでいるのだ」と実感できた。

